

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

March
ISSUE



March 2025
Volume 154

5年前の1年生 その2

1年は本当に早いもので、年度の締めくくりの時期となりました。

学校では6年生を送る会や卒業式、そして新年度に向けての準備が始まっています。

昨年の『The Learner』2月号 (Volume 142) では、卒業する当時の6年生について書かせていただきましたが、今年度も巣立ちゆく6年生に関することを書きたいと思います。

この学年の皆さんも、初めての出会いが入学式の日でした。

小さな背中に大きなカバンを背負い、何もかもが初々しいあなたがたの姿は、今でもよく覚えています。

また前年度に引き続き、連絡帳の代わりになる私からの「おたより」はほぼ毎日欠かさず発行しました。午前中に次の日の連絡やクラスの子どもの様子、保護者様へ知っておいていただきたいことなどを思いつくままにノートに書き、職員室でコピーして連絡帳の大きさにハサミで切り、連絡帳にペタッと貼る。この手続きが終わらないと1日が終わった気がしませんでした。

昨年も書きましたが、中には愚痴に近い内容もあったかと思っています。この場をお借りしてお詫びいたします。

また皆さんとは、再び4年生でご一緒できました。それまでDIAに赴任してから1つの学年を2回担任することはありませんでした。3年が経ちしっかりと成長した皆さんに嬉しく思いつつ、高学年に向かう大切な時期であり、気を引き締めて臨みました。

1年生のときは2月にコロナのため政府の『緊急事態宣言』が発出され、皆さんとお別れの言葉も言うことができず突然の「学級じまい」でしたので、しっかりと1年間担任を全うできるよう願

ながらの1年間となりました。

また1年生とは異なり、4年生は「ギャングエイジ」と呼ばれる世代です。毎日いろいろなことがありましたが、子どもたちと一緒に考えながら乗り越えていきました。彼らもしっかりとついてきてくれて、今では良い思い出になっています。

「丁寧に字を書く」「あいさつをきちんとする」「学習では下敷きや定規を使う」など、いろいろと細かいことを当時の4年1組の皆さんに要求したと思います。しかしどれもみな「これからの生活や社会で役に立つ事柄やスキル」ということを説明し、納得してもらえたのではないかと思います。

秋学期にはUOIJで理科の実験をいくつか行いました。火を扱う実験なのですが、グループに分かれてみんなで協力して、安全に実験を進める姿に、頼もしさを感じました。

3月には盛大に「お楽しみ会」を開催しましたね。最後にみんなで踊ったダンスは今でも忘れられません。

4月から教頭になってからも、子離れができない私は、ほぼ毎日のように5年生の教室に向向いて子どもたちの顔を見に行っておりました。

6年間、皆さんの立派な成長を見続けることができて、今更ながら「教師という仕事に就くことができて良かった」と思います。

別れが来るのはとても寂しいですが、これからの長い人生、小学校で学んだことを糧に、自信をもって歩んでいってほしいと思います。

残るは卒業式ですね。皆さんの一生の思い出となるよう、しっかりと司会の務めを果たしたいと思います。

教頭 風間 寛



キリスト教教育

3月：赦し March: Forgiveness

「人は言った。『これこそ、私の骨の骨、肉の肉。これを女（イシャー）と名付けよう。
これは男（イシュ）から取られたからである。』」

（創世記2章23節 聖書協会共同訳、カッコの注釈は新共同訳より）

上記の聖書箇所は天地創造物語の有名な場面です。主なる神は土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、「人が独りであるのは良くない。」と考えて、同じように土でありとあらゆる野の獣や空の鳥をつくりましたが、彼にふさわしい相棒は見つかりませんでした。そこで主なる神は人を深く眠らせ、そのあばら骨を1本取って、それを材料にもう一人の別の人をつくり上げました。自分の所へ連れて来られたもう一人の人を見て、嬉しさのあまり最初の人がかんだのが上掲の言葉です。日本語訳だけでは、なぜ「男から取られたから女」なのか首を傾げますが、原語のヘブライ語を見るとその理由が一種の言葉遊びから来ていることに気がきます。「イシュから取られたからイシャー。」つまり、詩的に韻を踏んでいるわけです。

創世記は古代ヘブライ民族が出会った神への信仰を物語形式で綴ったものであり、決して科学読み物や歴史書の類ではありません。最近、あるキリスト教国では新しい大統領が「政府の公式方針として、性別は男女の2つのみとする。」と発言し物議を醸していますが、もしその「公式方針」が聖書のこの場面を根拠にしているのなら、本来著者が伝えたかったメッセージとは少しずれて解釈されているのではないかと考えます。天地創造物語ではアダムとエバという固有名詞を持った2人の男女が登場し、夫婦になりますが、アダムとは元々「アダマ（土）からつくられた人」という意味で、性別に関係なく人類全般を指す言葉です。そしてその相棒たるエバが他の全ての動物達と異なるのは、人の骨を分かち合った存在である、という点です。

毎年4年生にはPYPで骨の勉強をするUnitがありますので、私は専科（宗教）として必ずこの創世記の場面をコラボレーションして取り上げることにしています。

骨の役割には大きく分けて①体を支える②脳や内臓を守る③体を動かす④カルシウムを貯める、などがありますが、最も大切な役割の一つが血液を造ることです。血液は骨の奥の骨髄で造られ、骨そのものが絶えず変化しています。血液は生物の命そのものですから、もしアダムの骨から取られた骨でもう一人の人間がつけられたとするならば、それは人間というものが大事な命を分け合って生きていく存在である、ということを示唆しているのではないのでしょうか。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



<お知らせ>

- ・3月11日（火）は「東日本大震災を憶える礼拝」です。
- ・3月の「おにぎり献金」は、3月11日（火）に行います。今年度最後の献金になりますので、特に覚えてご用意いただけますよう、よろしくお願いいたします。
- ・献金先

国内：岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、北陸学院キリスト教センター「石川県能登半島地震支援金口」

海外：日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「シリア緊急募金」・「ガザ人道危機緊急募金」



2024-2025 PYP Exhibition

1月30日（木）・31日の2日間にわたってエキシビションが行われました。連日、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。エキシビションはPYPの歩みの集大成。DIAで学んだ学習の成果の際骨頂を見ていただくことができ、嬉しく思います。では、エキシビションとはどんな風に学習を進めるのでしょうか？今年度最後の学校便りでは、卒業する6年生と共に、エキシビションの裏側をお見せしたいと思います。

① テーマを決める（4月～夏休み）

夏休みが終わるまでに自分の興味のあることを3つ程度選び、情報収集を行います

② 情報収集（夏休み～）

選んだテーマの中から1つ選び、本やインターネット、インタビューなどをしながら、情報を集めます。

③ 情報の精査（10月ぐらいから～）

ある程度情報が集まったら、情報の取捨選択をしていきます。

④ Action（常に）

自分のテーマをよりみんなに知ってもらい、地球規模の問題を解決するために自分はどうすれば良いか、一人一人自分の考えたアクションを行います。朝の礼拝でアナウンスをしたり、毎日の生活を改善してみたり、地域のごみを拾ったり、外部機関と協力して署名を集めたり・・・と学内外問わず、自分で出来ることに取り組みます。

⑤ 発表に向けた準備

エキシビション当日に向けて、より分かりやすく、より伝わるディスプレイを制作します。文字の大きさや色など工夫してオリジナルの作品を作ります。

⑥ 当日

いよいよ当日、約300名のお客さんに向けて、自分の情熱を伝えます！

エキシビションは6年生の1年間で出来るようなものではありません。1年生からUnitの方向性に合わせて、校外学習にいたり、ゲストティーチャーから話を聞いたりする中で培った力です。DIAの集大成であるエキシビション。来年の6年生が今までの学習でどんな力をつけて、どんな発表をするのか、どうぞ楽しみにしていて下さい。



からのおしらせ

新しい旅立ち

卒業、入学シーズンを迎えました。3月は1年の締めくくりの月でもあり、新しい旅立ちの月でもあります。それぞれの想いを胸にそっと寄り添える「旅立ち」の本をご紹介します。

『たいせつなこと』 作：マーガレット・ワイズ・ブラウン 絵：レナード・ワイズガード 訳：うちだ ややこ
出版社：フレーベル館



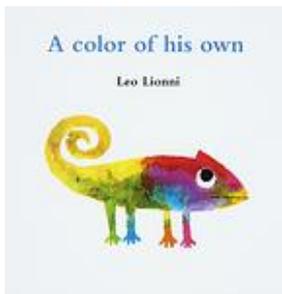
子どもたちにとって、本当に大切なこと。今、自分が本当に大切にしなければいけないこと。何度だって確かめたい時。答えがわからなくなった時。目の前にあるものをしっかり見て、耳をすましてみる。誰かの声を聞いてみる。この絵本を読んでみる。すると、何回だって答えてくれます。「あなたは、あなた。あなたにとって、たいせつなのは……？」

『わすれられないおくりもの』 作・絵：スーザン・バーレイ 訳：小川 仁央 出版社：評論社



まわりのだれからも、したわれていたアナグマは、年をとって死んでしまいました。かけがえのない友を失ったみんなは、どう、悲しみをのりこえていくのでしょうか……。スーザン・バーレイの手になるこの感動的な絵本は、友人どうしのあり方や、たがいに、心や技を伝えあっていくことの大切さ、ひいては、人間の生き方をも、静かに語りかけています。この美しいお話と、それにぴったりの絵をつけたスーザン・バーレイは、「わすれられないおくりもの」で、初めて、子どもたちのための作品を書きました。

『A color of his own』 Leo Lionni/文 Knopf/出版者



おうむはみどり、きんぎょはあかい・・・動物はそれぞれ自分の色を持っていますが、カメレオンだけは周りの色に合わせて色が変わってしまい、「自分の色」がありません。カメレオンは自分の色を持っていないことを嘆いていましたが、あるとき、もういっぴきのカメレオンに出会い、悲しみを共有します。自分の色にこだわっていたカメレオンが考え方を变えることで幸せになります。その発想の転換に、はっとさせられます。

3月の主な行事・予定

3月12日(水)~3月13日(木) 学期末カンファレンス	
3月14日(金) 卒業式	
3月20日(木)~4月6日(日) 春季休業日	
1	土 土曜参観・学期報告会 / Saturday Open Classes・Term-end Report MTG
2	日
3	月 代休 / Designated substitute holiday
4	火
5	水 6年生を送る会 / G6 farewell MTG 委員会活動 / Student's committees
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火 震災を憶える礼拝 / The memorial worship service of the earthquake in Tohoku
12	水 学期末カンファレンス(希望者のみ)(午前授業) / The term-end conferences(optional)(AM lessons)
13	木 学期末カンファレンス(希望者のみ)(午前授業) / The term-end conferences(optional)(AM lessons)
14	金 卒業式 / Graduation ceremony
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木 春季休業日(3月20日~4月6日) Spring Holidays(3/20-4/6)
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
28	木
29	金
30	土
31	日

4月の主な行事・予定

4/7(月)	始業式 (午前授業)
4/10(木)	入学式
4/18(金)	避難訓練